

## 【40～64歳】高齢者の福祉・介護に関するアンケート調査における設問及びその意図について

調査票の記入者について				
No.	設問	選択肢	設問の意図	調査項目種別
—	調査票を記入されたのはどなたですか。	1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 ) 3. その他	—	国調査項目(必須)

問1 あなたのご家族や生活状況について				
No.	設問	選択肢	設問の意図	調査項目種別
(1)	家族構成をお教えてください	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他	この設問は、家族構成を問う設問です。高齢者の世帯状況やその地域分布を把握すること、世帯構成別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	国調査項目(必須)
(2)	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	この設問は、主観的な介護の必要度を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の介護の必要度を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	国調査項目(必須)
①	①【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(いくつでも)	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物) 4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等) 6. 認知症(アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患(透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他( ) 15. 不明	この設問は、介護・介助が必要になった原因を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の介護・介助が必要になった原因を把握することにより、地域課題(要介護状態になる原因)の把握が可能になります。	国調査項目(オプ)
②	②【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】 主にどなたの介護・介助を受けていますか	1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他( )	この設問は、介助者の詳細を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の介護・介助の実態を把握することにより、地域課題(家族介護の実態)の把握が可能になります。	国調査項目(オプ)
(3)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	この設問は、主観的な経済状態を問う設問です。高齢者の経済状態やその地域分布を把握すること、経済状態別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	国調査項目(必須)
(4)	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅) 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借家 7. その他	この設問は、住宅の形態を問う設問です。地域の高齢者の住まい(サービス付き高齢者向け住宅など)のニーズ把握・サービス整備の検討の際に活用することが可能になります。	国調査項目(オプ)

問2 地域での活動について				
No.	設問	選択肢	設問の意図	調査項目種別
(1)	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか※①～⑦それぞれに回答してください ① ボランティアのグループ ② スポーツ関係のグループやクラブ ③ 趣味関係のグループ ④ 学習・教養サークル ⑤ 老人クラブ ⑥ 町内会・自治会 ⑦ 収入のある仕事	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	この設問は、①～⑦に該当する活動への社会参加の状況を問う設問です。	国調査項目(オプ)
(2)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない	この設問は、地域づくりへの参加意向を問う設問です。地域づくりに対して「参加者として」「企画・運営(お世話役として)」の両方の立場における参加の意向を把握することが可能になります。	国調査項目(必須)
(3)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない	この設問は、地域づくりへの参加意向を問う設問です。地域づくりに対して「参加者として」「企画・運営(お世話役として)」の両方の立場における参加の意向を把握することが可能になります。	国調査項目(必須)

【40～64歳】高齢者の福祉・介護に関するアンケート調査における設問及びその意図について

問3 たすけあいについて				
No.	設問	選択肢	設問の意図	調査項目種別
(1)	あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	この設問は、たすけあいの状況を把握する設問です。たすけあいの状況と関係性がある、その地域のうつ傾向の発生状況を、間接的に把握することが可能になります。	国調査項目（必須）
(2)	反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない		国調査項目（必須）
(3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない		国調査項目（必須）
(4)	反対に、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない		国調査項目（必須）
(5)	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）	1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 7. そのような人はいない	この設問は、地域の相談経路を問う設問です。地域の相談窓口の活用状況を把握することが可能となります。	国調査項目（オプ）
(6)	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	この設問は、友人関係を問う設問です。事業を展開したことにより、地域でのつながりがどの程度増えたかをモニタリングすることが可能となります。	国調査項目（オプ）
(7)	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。	1. 0人（いない） 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上		国調査項目（オプ）
(8)	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）	1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない		国調査項目（オプ）

**【40～64歳】高齢者の福祉・介護に関するアンケート調査における設問及びその意図について**

問4 健康について				
No.	設問	選択肢	設問の意図	調査項目種別
(1)	現在のあなたの健康状態はいかがですか	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	この設問は、主観的健康感を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の主観的健康感を把握することで、地域の健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。	国調査項目(必須)
(2)	あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)	とても不幸 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 幸せ点	この設問は、主観的幸福感を問う設問です。うつ傾向との関係性も想定される、要介護状態になる前の高齢者の主観的幸福感を把握することで、地域の(精神面での)健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。	国調査項目(必須)
(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	この設問は、うつ傾向を問う設問です(1)(2)でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります)。うつ傾向の高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	国調査項目(必須)
(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ		国調査項目(必須)
(5)	お酒は飲みますか	1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない	この設問は、飲酒の習慣を問う設問です。高齢者の健康寿命に影響を与えると考えられる本項目と他項目の関係性を把握することにより、地域の高齢者の特性把握が可能になります。	国調査項目(オプ)
(6)	タバコは吸っていますか	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	この設問は、タバコの習慣を問う設問です。高齢者の健康寿命に影響を与えると考えられる本項目と他項目との関係性を把握することで、地域の高齢者の特性把握が可能になります。	国調査項目(必須)
(7)	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他( )	この設問は、現在治療中の病気等を問う設問です。認定を受けていない高齢者の既往を把握することで、要介護状態になる原因等の地域課題の把握が可能になります。	国調査項目(必須)

問5 介護保険制度について				
問	設問	選択肢	設問の意図	調査項目種別
(1)	介護保険のサービスの充実と介護保険料額について、どのように考えますか (介護保険料は、利用するサービス費が増える分だけ高くなります。サービス費が増える要因としては、高齢者人口の増加により利用者数が増えることや一人当たりのサービスの利用量が増えることなどがあげられます。年々、介護保険料は増加しています。)	1. 介護保険のサービスを充実させてほしいので、より介護保険料が高くなってもしかたがない 2. 介護保険のサービスは利用者数の増加分だけに抑え、介護保険料は最低限の増加にとどめてほしい 3. 介護保険のサービスはある程度少なくなっても構わないので、介護保険料は現状を維持してほしい 4. 介護保険のサービスは大幅に少なくなっても構わないので、介護保険料は下げてほしい 5. わからない 6. その他( )	この設問は、介護保険制度について、制度内容や仕組みを知っているかどうか確認する設問です。設問による意識啓発と合わせ、今後の制度や仕組みの周知に向けた参考となります。	市独自調査項目
(2)	今後、もしあなた自身、介護が必要となった場合、どのようにして自立した生活をしたいですか	1. 家族に介護してもらいながら、できる限り現在の住まいで生活したい 2. 介護保険制度の介護サービスや保健福祉サービスを活用しながら、できる限り現在の住まいで生活したい 3. 特別養護老人ホームや老人保健施設に入所して生活したい 4. 民間の高齢者向け居住施設(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等)に入所し、介護サービスを受けながら生活したい 5. 療養型の病院に入院して生活したい 6. その他( )	この設問は、主観的な介護に対する意向を問う設問です。自身が介護が必要になった場合の自身の意向を把握することで、在宅での介護を希望する際に求められる在宅サービス種類の検討ができます。	市独自調査項目
(3)	今後、もしあなた自身、介護が必要となった場合、現在の住まいで自立した生活をする際に、必要と感じることはありますか。(複数選択可)	1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物(宅配は含まない) 5. ゴミ出し 6. 外出同行(通院、買い物など) 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他 11. 特になし		市独自調査項目

問6 地域包括支援センターについて				
問	設問	選択肢	設問の意図	調査項目種別
(1)	地域の高齢者相談の窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか	1. はい⇒(2)以降へ 2. 名前だけは聞いた事がある⇒(2)以降へ 3. いいえ(今知った)⇒「問12 自由記載欄」へ	地域包括支援センターの認知度を確認するための設問です。前回調査との比較により、認知度の変化の度合いが確認できます。	市独自調査項目
(2)	【(1)の1か2に○をつけた方のみ】「地域包括支援センター」をどのようにして知りましたか(いくつでも)	1. 地域包括支援センター職員の訪問や電話で 2. 地域包括支援センターが行う出前講座や研修、相談会などのイベントに参加して 3. 敬老会や地域の祭り、町会の行事で見かけて 4. 広報あおもりやチラシ、パンフレットで 5. 町会長、民生委員・児童委員からの紹介 6. 薬局からの紹介 7. かかりつけ医からの紹介 8. 市役所からの紹介 9. 家族や友人からの紹介 10. 高齢福祉施設や介護事業所からの紹介 11. その他( )	地域包括支援センターを知ったきっかけを確認するための設問です。周知方法を検討する材料となります。	市独自調査項目
(3)	【(1)の1か2に○をつけた方のみ】地域包括支援センターの役割や業務内容について、知っているものはありますか。(いくつでも)	1. 市が設置している高齢者の相談窓口であること 2. 介護や介護予防、健康、医療、福祉、生活など、様々な相談に応じていること 3. 認知症の相談にも応じていること 4. 高齢者のご家族や近隣に暮らす方からの相談にも応じていること 5. 高齢者のご自宅での相談にも応じていること 6. 地域の方々と協力しながら支援を必要とする高齢者の早期発見・支援に努めていること 7. 高齢者虐待の未然防止や高齢者虐待発生時の対応に取り組んでいること 8. 認知症などで適切な財産管理などが困難な方へ成年後見制度などの紹介を行っていること 9. 高齢者の消費者被害防止のための情報収集・情報提供を行っていること 10. 要支援1・2の認定を受けた方の心身状態の悪化を防ぐためのケアプランを作成し、支援を行っていること 11. 1. 出前講座等を通じて高齢者の健康づくりや介護予防を支援していること 12. 地域の医療・介護・福祉などの関係者と協力しながら、暮らしやすい地域づくりのためのネットワークづくりを行っていること 13. 名前は知っているが、役割や業務内容は知らない	地域包括支援センターの役割や業務内容についての認知度を確認するための設問です。周知方法を検討する材料となります。	市独自調査項目

問7 自由記載欄				
問	設問	選択肢	設問の意図	調査項目種別
(1)	青森市の高齢者の福祉・介護保険事業に関してご意見・ご要望など	—	—	市独自調査項目